

フランス語翻訳Ⅰ

科目ナンバリング FRE-305
必修 1単位

野澤 丈二

1. 授業の概要(ねらい)

2年間培ったフランス語能力を土台として、フランス語の文章を正確に読み、日本語らしい日本語に置き換えていくトレーニングをします。最終的には、フランス語をフランス語のまま理解することが目的ですが、その途中段階として精度の高い翻訳技術を学ぶことは、のちのちの成長にさらに弾みをつけるはずです。

授業は読む・書くを中心に進めますが、視る・聴くといった活動も随所に取り入れます。

ここでの翻訳はフランス語から日本語への作業となりますが、仏仏辞典を積極的に用いることで、各人がすでに持っている語彙や表現のなかから日本語に訳していくことを心がけます。

2. 授業の到達目標

- ① フランス語の文章を正確に理解し、正確に日本語に訳す。
- ② より日本語らしい日本語訳を目指す。
- ③ フランス語のまま文章を理解する足がかりとする。

3. 成績評価の方法および基準

授業内課題(30%)、期末試験(70%)、授業への積極参加などを総合的に判断して評価します。

出席については減点方式をとり、5回の欠席で評価の対象外とします。遅刻は2回で欠席扱いとなり、交通機関の乱れなどによる遅延証明は2回まで認めます。

4. 教科書・参考文献

教科書

授業で使う教材に関しては、授業内で適宜配布する。

5. 準備学修の内容

次週の教材に関しては単語の意味をきちんと調べておくこと。

6. その他履修上の注意事項

フランス語を学び始めてから3年目に入ります。これまでとは違った壁が待っているはずですが、途中で辛くなっても、授業には必ず出席し続けること。大学でフランス語を集中的に学べる最後の1年と捉えて、ぜひ積極的に取り組んでください。

7. 授業内容

- | | |
|--------|-------------------|
| 【第1回】 | イントロダクション |
| 【第2回】 | フランスの人口は今後も増えるのか? |
| 【第3回】 | 統計からフランス人を考える |
| 【第4回】 | 移民はどう変わったのか |
| 【第5回】 | 政教分離 |
| 【第6回】 | フランスの高等教育機関 |
| 【第7回】 | フランス経済の歩み |
| 【第8回】 | 社会階級は崩壊したのか? |
| 【第9回】 | エリート養成 |
| 【第10回】 | フランスの「サラリーマン」 |
| 【第11回】 | 失業問題 |
| 【第12回】 | パリ郊外を考える |
| 【第13回】 | フランスの文化外交 |
| 【第14回】 | 全体に関する質疑応答 |
| 【第15回】 | まとめと試験 |